

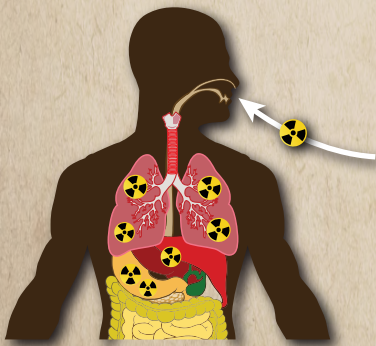
原子力発電所の事故

原子力発電所は安全とセキュリティー上の手順を備えている上、原子力規制委員会 (NRC) 綿密に監視しています。原子力発電所の事故は危険レベルの放射線を一帯に放出する恐れがあります (これをプルームということもあります)。



原子力発電所で事故が起きたとき一番危険なのはどんなことでしょうか。

原子力発電所から出るプルームの中にある放射性物質は屋外にいる人、建物、食品、水、家畜の上に落ちそれらを汚染します。



放射性物質は人が汚染した空気や飲食物を吸い込む、食べる、飲むときにも体内に入ることができます。

原子力発電所の近くに住んでいて放射線に曝露されている人はがんを始めとする長期的健康影響を経験するおそれがあります。

原子力発電所で事故があったとき自分を護るために何をすべきでしょうか。

原子力発電所の近くに住んでいる方は発電所を動かしている電力会社又は地域の緊急事態管理局から緊急事態対応の資料をもらってください。



屋内に退避



屋内に留まる



常に最新の情報を確認



U.S. Department of
Health and Human Services
Centers for Disease
Control and Prevention

<http://emergency.cdc.gov/radiation>